

1 システム概要

(1) システムラック





(2) プロジェクター





(3) 演台操作盤



(4) タッチパネル通信用 Wi-Fi



2 操作手順

- (1) システム起動
 - れ幌市民防災センター 災害バーチャル 体験コーナー **電源ONボタン**
 - ① タッチパネル「電源 ON」ボタンを押す。

② 「電源を 0N しますか?」のメッセージが表示される。そのまま起動 させる場合は「はい」ボタンを押す。起動させない場合は、「戻る」ボ タンを押す。



※すべてのシステムが運用可能となるためには2分程かかる。 ※室内灯もシステムに連動している。

- (2) 自動上映
 設定したコンテンツを自動再生する。
 初期設定は次の順番で再生する。
 【PR 映像】→【注意事項】→【津波災害】→【土砂災害】→【都市型災害】

 - 「自動上映」ボタンを押す。再生しないコンテンツがある場合は、コンテンツのボタンを押すと上の〇印が消え、再生されなくなる。
 - ② 「スタート」ボタンを押す。
 - ③ 「ストップ」ボタンを1回押すと停止し、2回押すとリセットされる。最初からコンテンツを再生する場合は、「ストップ」ボタンを2回押し、上記手順で「スタート」ボタンを押す。



- (3) 手動上映コンテンツを単体で再生する。
 - ① 上映するコンテンツのボタンを押す。
 - ② 手動上映をストップする場合は「手動上映停止」ボタンを押す。

	映像コンテンジ 1 2 3	2 選択(上映順) 4 5	詳細設定	
	PR映像 注意事項 建波频管	土砂災害 杨雨望水雪	音量	
手動上映 - 停止ボタン	P R映像時間 120 秒	朱停止		- 手動上映ボタン
	全機器の電源	運用選択		
		ベント 外部入力 自動上映		
	PR映像 時間設定			
	スト (非常	ップ 停止) スタート	O N O N	
			OFF OFF	

- (4) イベントBlu-ray・DVD ディスクを再生する。
 - ① Blu-ray1 または Blu-ray2 を選択する。
 - ② Deck Control 「▶」ボタンを押す。

ジース選択 Bluray 1 Bluray 2 外部入力	戻る
Deck Contorl	演出細部設定 セット2 (基本設定に戻る
HAN Blacky I CHANNEL	ストロボライト 0N 0FF カラーライト 0N 0FF
Blaray 2	室 内 照 明 (N) (FF)
	通訳者照明 0N 0FF 送風 0N 0FF
	ON OFF

この画面で演出細部設定を手動で操作できる。

(5) 外部入力

演台操作盤の外部入力端子に接続したパソコン・再生機器の映像や音 声機器を映し出すことが出来る。

 (1) 演台操作盤の外部入力端子にパソコン出力を接続する。
 ※入力はアナログ RGB 端子と HDMI 端子の2 種類が使用可能。

- (6) PR 映像上映時間設定PR 映像の上映時間を設定する。
 - ① 「PR 映像時間設定」ボタンを 2 秒以上押す。
 - 「+」「-」ボタンで時間を変更し、「SET」ボタンを押す。
 設定した時間は、電源を切っても記憶されている。

	映像コンテンツ選択(上映順) 詳細 1 2 3 4 5	
	PR映像 計畫成災害 土砂災害 活計並水雪 PR映像時間 手助上映停止 手動上映	
	P R映像時間 增数位 多 イマー 能定 UP DOWN IR 120	
PR映像時間設定 —		
	(非常停止) OFF OFF	

(7) 音量設定

全体音量とマイク音量を設定できる。

映像コンテンツ選択(上映順) 1 2 3 4 5	詳細設定	
PR映像 注意事项 建波波管 主砂浆害 西市支水田	音量	
PR映像時間 120秒 手動上映停止		
全機器の電源 運用選択 ステム 327-4 327-4 327-4 327-5 348-7		
PR映像 時間設定	O N O N	
(非常停止)	OFF OFF	

(8) システム終了

	[映像コンテン	ツ選択(上間	夹 順)	詳設	細定
	PR映像 選惠	事項 津波災害	土砂災害	都市型水香	<u> </u>	
	PR映像時間 120 秒	手動」	上映停止	手動上映		
終了ボタン —	全機器の <u>システム</u> 起動中	電源	運) イベント 列	用選択 自動上映		
	PR映像時間設定					
		ス (非1	トップ 常停止)	スタート	0 N	O N
					OFF	OFF

① 「終了」ボタンを押す。

次に下記メッセージが表示される。
 「はい」を押すとシステムが終了する。
 「戻る」を押すと初期画面に戻る。





③ 下記画面になり、電源がすべて OFF になる。

- 3 トラブルシューティング
 - (1) 画面が変わっている
 - 長時間使用しなかった場合などはアプリー覧画面に変わっている場合 がある。この場合は「AMX TPcontrol」アイコンを押す。



- (2) タッチパネルが動作しない
 - ホームボタンを押す。



- ② もう一度ホームボタンをダブルタップする。
- 下部の「AMX TPcontrol」アイコンを長押しし、「-」ボタンを押して アプリを強制終了する。
- ④ 再度ホームボタンを押し、「AMX TPcontrol」アイコンを押す。
- ⑤ 上記手順でも復旧しない場合は、iPad を演台から取り出してホームボ タンと電源ボタンを同時に押し、端末を強制終了(再起動)する。

- (3) 室内照明が点灯しない、または上映時に消灯しない
 - 調光ドロワー内にある機器(2台)を再起動するため、一度コネクターを抜き、再度接続しなおす。機器のモニター表示が、エラーが発生していることを表す「88」以外の数字になっていることを確認する。





- (4) 全体音量が ON になっているにもかかわらず音が出ない
 - ① タッチパネルでシステムを終了する。



② スイッチャー・ハブの電源を切る。

- ③ 時間をおいてスイッチャー・ハブを再起動する。
- タッチパネルでシステムを起動する。
- (5) UPS からブザー音が鳴っている、エラーが出ている
 - UPSの電源を切らず、システムラックブレーカーを 0FF にした場合は、バッテリーが働き警告音が鳴り続ける。



② その他エラーは下記のとおり。

					-		ブザー		
No	LED 表示	UPS 状態	運転	以尤態	詳希	e	×1		
1	OUTPUT 青点灯	出力中	インバッ	バータ運転 テリ運転 パス運転	イン出力	ハバータ運転、バッテリ運転、バイパス運転状態で っしている時に点灯します。	-		
2	OUTPUT	始動待ち	UPS	5待機中	UF	S オプションによって、始動待ちおよび停止			
	青点滅	停止待ち	インバッ	インバータ運転 バッテリ運転		待ちの状態になった時に点滅します。※2			
3	CAUTION 橙点灯	待機時の 入力電圧異常	UPS	6待機中	「起動動	DPERATION」スイッチが"ON"した状態で、 加電圧範囲外の時に点灯します。その状態で起 電圧範囲内に変化すると、点灯は解除され、自 で起動します。	(
4		入力電圧低下	バッ	テリ運転	入力断で時に	コ電圧が低下した時に点灯し、バッテリ運転に無瞬 で切り替わります。入力電圧が正常電圧へ復旧した ま、無瞬断で交流入力運転に切り替わります。	4		
5		入力電圧上昇	バッ	テリ運転	入力) 断で	コ電圧が上昇した時に点灯し、バッテリ運転に無瞬 で切り替わります。入力電圧が正常電圧へ復旧した は、無瞬断で交流入力運転に切り替わります。	٢		
6		入力周波数異常	パッ	テリ運転	入り無暇た日	D周波数が異常状態の時に点灯し、パッテリ運転に 弊断で切り替わります。入力周波数が正常に復旧し 寺は、無瞬断で交流入力運転に切り替わります。	4		
7		バッテリ運転 停止予告	バッ	テリ運転	バ: 迫:	ッテリ運転中にバッテリ容量が減少し、運転停止が っている時に点灯します。	3		
8		バッテリ 温度異常	イン パッ パイ UPS	バータ運転 テリ運転 アス運転 S 待機中	パシしこ	> テリ周囲温度が規定値以上に上昇した時に点灯 ます。インバータ運転時は充電を停止し、出力はイ パータ運転を継続します。ただし、温度が正常に戻 に場合は、異常から自動復帰します。	5		
9		過負荷	インバッ	パータ運転 テリ運転 パス運転	本 ま?	UPS に接続する負荷が定格容量以上の時に点灯し す。	3		
10		ファン故障	インバッ	バータ運転 テリ運転 パス運転	冷却	むファンが故障、または障害物によって連続的に停 った時に点灯します。運転は継続します。	2		
11		過負荷停止	UPS	5 停止中	過算入は	負荷により出力停止した時に点灯します。 奇を減少してから「OPERATION」スイッチを再投 すると運転を再開します。ただし、交流入力異常時 ■転を再開しません。	1		
12	CAUTION 橙点滅	初期バッテリ 異常	イン	バータ運転	始 た が (ji (助時に、バッテリが異常の時に知らせます。 こし、バッテリ異常でも充電およびインバータ運転 通常運転)は始動します。 「9. 機能」参照)	1		
13		開放バッテリ 異常	イン	パータ運転	始 ら い (加してからバッテリの開放電圧が低下した時に知 せます。ただし、バッテリ異常でも充電およびイン −夕運転(通常運転)は継続します。 「9、機能」参照)	1		
14		バッテリ異常	イン	バータ運転	バ究和	ッテリ充電中、バッテリ電圧が異常に低下した時に 電を停止します。ただし、インバータ運転(通常運 は継続します。	1		
					-	Ruh Jon	ブザー		
No.	LED 表示	UPS 状態		連點状態		言手激出	₩1		
15	CAUTION 橙点滅	充電器異常		インバータ運	転	パッテリ充電中、バッテリ電圧が異常に上昇した時 に充電を停止します。ただし、インバータ運転(通 常運転)は継続します。	1		
16		バッテリ寿命		インバータ運 バッテリ運転 バイパス運転	転	バッテリの自動寿命診断の結果、バッテリ交換が必 要と判断されると点滅します。 (「9、機能」参照)	-		
17		通信異常		インバータ運 バッテリ運転 バイパス運転	転	コンピュータとの通信が異常となった時に点滅し ます。	5		
18	ALARM 赤点灯	半導体温度異常	半導体温度異常 パイ			本 UPS 内部温度が上昇した時に点灯します。イン パータ運転時は、インパータを停止し、無瞬断でハ イパス運転へ切り替わり、点灯します。	1		
19		PFC 電圧異常		バイパス運転		インバータに入力される PFC 回路の出力直流電圧 が異常になった時、無額断でバイパス運転へ切り替 わり、点灯します。	1		
20		出力電圧異常		バイパス運転		インパータ出力電圧が異常になった時、無曖断でハ イパス運転へ切り替わり、5秒以上、異常を継続し た時に点灯します。	1		
21		制御電源異常		バイパス運転		制御電源電圧が異常になった時、無瞬断でバイパス 運転へ切り替わり、点灯します。	1		
22		マイコン異常		バイパス運転		内部制御用マイコンが異常動作した時、無暇断でハ イパス運転へ切り替わり、点灯します。	-		
23	ALARM 赤点滅	メンテナンスモ・	4-	バイパス運転		メンテナンスモードのバイパス運転により出力し ている時、点滅します。	-		

(1) ブザー警報音



(2) ブザー警報内容

- 本 UPS の異常時、過負荷停止時、初期バッテリ異常時、開放バッテリ異常時、バッテリ異常時、 充電器異常時、半導体温度異常時、PFC 電圧異常時、出力電圧異常時、制御電源異常時
- ファン故障時
- ③ バッテリ運転停止予告時、過負荷時
- ④ 入力電圧異常時、入力周波数異常時
- ⑤ パッテリ温度異常時、通信異常時

(3) ブザーの停止方法

- ・ブザー鳴動中に「BUZZ. OFF」スイッチを押すと、ブザーは停止します。 ただし、制御電源異常時のブザーは除きます。

(4) ブザーの鳴動停止の設定

・通常、異常時にブザーが鳴動しますが、「DIP」スイッチの BUZZER OFF 設定を"ON"にすると、 ブザーが鳴動しないようにすることができます。この機能を設定しますと、異常が発生してもブザー が鳴動しません。(「8.モード設定」参照)

症状	· 花電 意忍	処置
「OPERATION」スイッチを "ON"にしてもUPSが起動し	入力ケーブルは分電盤に接続され ていますか?	入力ケーブルを分電盤に正しく接続 してください。
ない	商用電源は正常ですか?	UPS の起動電圧範囲は下記の通り です。入力電源を確認してください。 85V~146V (設定電圧 100VAC 時)
「OPERATION」スイッチを "ON"にしても UPS は起動し ないが、「CAUTION」LED (橙 色) が点灯している。	商用電源は正常ですか?	UPS の起動電圧範囲は下記の通り です。入力電源を確認してください。 85V~146V (設定電圧 100VAC 時)
「OPERATION」スイッチが "ON"の状態で出力がない。 また、「OUTPUT」LED(青色) が点滅している。	UPS オプションを使用してスケジ ュール運転をしていませんか?	UPS オプションでスケジュール運 転をしている場合、UPS が始勤待ち の状態では「OUTPUT」LED (青色) が点滅します。故障等ではありませ ん。
パッテリ運転していないのに 「CAUTION」LED(橙色)が	UPS の周囲温度は正常ですか?	荷物の積み上げ等を避け周囲温度を 下げてください。
点灯する。	接続負荷の容量は UPS の仕様 を超えていませんか?	負荷容量が仕様範囲内になるように 負荷を調整してください。
バックアップ時間が短い	バッテリ充電は充分ですか?	5 時間以上充電し、バッテリチェッ クを実施し再度確認してください。 なお、仕様の定格バックアップ時間 は初期値です。使用年数によりバッ クアップ時間は短くなります。
コンピュータと通信ができない。	通信ケーブルが通信用コネクタから外 れていませんか?	別途用意されている通信ケーブルを、通信コネクタに接続してください。
Windows 標準の電源オプショ ン(UPSサービス)で停電シャ ットダウンは実行されたが、 UPSが停止しない。	使用OSは何ですか?	Windows 標準の電源オプション (UPS サービス) は、停電シャット ダウン後に UPS シャットダウン信号 が送出されない仕様になっています。 したがって、UPS の故障ではありま せん。

(引用元:小型交流無停電電源装置「UPS3010SP」 取扱説明書 P14~16、P29)

(6) プロジェクターが映らない、エラーが出ている

ランプインジケーター〈LAMP1〉/〈LAMP2〉

点灯状况	赤色点灯	赤色点滅 (1回)	赤色 (3	点滅 回)	
大振 ランプユニットの を表示している	ランプユニットの交換時期 を表示している	ランプユニットが装着され ていない	ランプまたはランプ用電源の異常を検知している		
お調べください	 本機の電源を入れたときに [ランブを交換してくださ い。]という表示が出ませ んでしたか。 ランブユニットの使用時間 が2300時間([ランブ パワー]を[ノーマル]に 設定時)に達すると点灯し ます。 	 ランプユニットが装着されていますか。 	 電源を切ってからすぐに範 源を入れ直していません か。 	 ランブ回路に異常が発生しています。電源電圧が変動 (低下)していませんか。 	
処置方法	 ランプユニットを交換して ください。 	 ランブユニットが装着されていない場合は、ランブユニットを装着してください。 ランブユニットが装着されているのに赤色点滅をしている場合は、販売店にご相談ください。 	 光源ランブが冷えるまでし ばらく待ってから ばらく待ってから なるための <	 主電源〈MAIN POWER〉 スイッチを〈OFF〉にして (☞ 38 ページ)、販売 店にご相談ください。 	

温度インジケーター〈TEMP〉

点灯状況	赤色点灯		赤色点滅 (1回)	赤色点滅 (3回)
状態	ウォームアップ状態	内部が高温になっている (警告)	ファンが止まっている	
お調べください	●気温が低い(0℃付近)状 況で電源を入れませんでし たか。	 吸気ロ / 排気口がふさがれ、 気温の高い所で使用してい、 フィルターインジケーター せんか。 	_	
処置方法	 このままの状態で5分ほどお待ちください。 周囲温度0℃~45℃*の場所に設置してください。 	 吸気ロ / 排気口をふさいでしい。 周囲温度 0 ℃~ 45 ℃、1 結響)の場所に設置してく、 エアフィルターユニットの・ ください。(マ 107、10 	 主電源〈MAIN POWER〉 スイッチを〈OFF〉にして (☞ 38ページ)、販売 店にご相談ください。 	

* 高地(海抜1400 m~2700 m)で使用する場合、使用環境温度の上限は5℃低くなります。

お知らせ

● 上記の処置をしても温度インジケーター〈TEMP〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

フィルターインジケーター〈FILTER〉

点灯状况		示色点滅		
状態	フィルターが目づまりしてい あるいは、周囲または内部が	エアフィルターユニットが 装着されていない		
お調べください	 エアフィルターユニットが 汚れていませんか。 	 吸気ロ / 排気口がふさがれていませんか。 	 [高地モード]が正しく設定されていますか。 	 エアフィルターユニットが 装着されていますか。
処置方法	●エアフィルターユニットの お手入れ、または交換をし てください。(☞ 107、 108 ページ)	 吸気□ / 排気□をふさいで いるものを取り除いてくだ さい。 	 海抜1 400 m以上~ 2700 m未満で使用する場合は、「高地モード」 (マ71 ページ)を (オン) に設定してください。 海抜2700 m以上の場所では使用しないでください。 	 エアフィルターユニットを 装着してください。

(引用元:プロジェクター「PT-DZ680」 取扱説明書 P105~106)

地震体験コーナー



1 システム概要



(1) システムラック



(2) タッチパネル

(3) 火災対策機器

スイッチを切ると演出が消え、表示板が緑に点灯する。 タッチパネルの表示の色も緑色に変わる。



- 最大震度表示
- (4) 起震台横の室内テレビ等の機器

(5) 緊急地震速報用スマートフォン



(6) 緊急地震速報通信用 Wi-Fi



(7) センサー



	子供向け地震	関東大震災	北海道南西沖地震	版神·淡路大震災	スマトラ島沖地震	東日本大震災	同左(長周期)	札幌想定地震
夏度	3	7(推定)	5	7	6	7	5(東京)	7
震度表示 (計測震度)	3.2 (13.2.+勝の札幌白 石)	6.5 (推定)	5.4 (推定)	6.4 (JR鏖取)	6 (データなし)	6.6 (宮城 禁館)	4.8 (新宿上落含)	6.5 (新潟川口町)
発生日	20XX年夏	1923/9/1	1993/7/12	1995/1/17	2009/9/30	2011/3/11	2011/3/11	20xx年冬
発生時間	昼	11時58分	22時17分	5時46分	10時16分	14時46分	14時46分	夜
ストロポライト	41	144	42秒後	6秒後	称	70秒後	şî.	9秒後
カラーライト	25秒後	44秒後	53秒後	18秒後	GL.	100秒後	an.	32秒後
室内照明	强.	tal	暗くなる	暗くなる	126	暗くなる(45秒後)	44	暗くなる
室内テレビ	7=*	726	紀行番組	朝の情報番組	紀行番組	紀行番組	紀行番組	紀行番組
同聚急地震速報	あり	72U	あり	あり	al.	あり	あり	あり
窓枠映像	アニメ	大正時代(日本橋)	奥尻島	神戸市	スマトラ島	宮城県栗原市	新宿高層ビル	札幌市内
エリアメール	196	au.	あり	あり	44	あり	あり	あり
起囊時間	30秒	60秒	70秒	25秒	60秒	120秒	30秒	60秒
全体体験時間	95秒	120秒	135秒	90秒	125秒	185秒	95秒	125秒

(8) 地震プログラムの演出

(9) 室内照明の調光

地震種別によって、室内照明を暗くしたりしている。 明るさはスイッチの回転により調整できる。



2 操作手順

- (1) システム起動

 - ① 起震台階下のピットにある制御盤のボタンで主電源を ON にする。



② 操作キーを右に回し、タッチパネルを起動させる。

- <image>
- ③ PC が立ち上がっていることを確認した後、緊急地震速報用スマート フォンの電源を ON にする。

※映像の送出機やスマートフォン用 PC の主電源は受付後方のスイッチ と連動している。





④ スマートフォン画面はキーボタンをスライドさせるとアプリが自動的 に起動する。





⑤ 室内モニター、室外モニター、窓枠用プロジェクターの電源をリモコンで ON にする。



⑥ すべての機器の起動を確認した後、「子供地震」を選択し、テストランニングを行う。

- (2) 地震プログラムの実施
 - タッチパネルの地震選択画面から体験する地震を選択し、「決定」ボタンを押す。



② タッチパネル左上の表示枠には選択した地震名が表示される。
 地震を変更したい場合は「地震を選びなおす」ボタンを押して、選択
 画面に戻し、再度選択しなおす。

③ タッチパネルの「開始」ボタンを押す。 起震台が機械原点に戻ってくるまでは、画面上のどのボタンを押して も反応しない。体験が終了すると地震選択画面に自動で戻る。



※事故防止のため、プログラムが終了後コーナーを離れる場合は、 必ず操作キーを左に回してタッチパネルを OFF にする。

- (3) システム終了
 - ① 操作キーを左に回し、タッチパネルの電源を OFF にする。
 - ② 室内モニター、室外モニター、窓枠用プロジェクター、緊急地震速報 用スマートフォンの電源を OFF にする。緊急地震速報用スマートフォン は主電源より先に OFF にする。
 - ③ 起震台階下に行き、主電源を OFF にする。

- 3 トラブルシューティング
 - (1) 緊急停止と復旧
 - 非常時、操作台に設置されている「緊急停止スイッチ」を押すと緊急 停止となる。
 - ② 復旧は「緊急停止スイッチ」を右に回して、「カチッ」と音が鳴るの を確認する。その後、タッチパネルの「緊急停止復旧」ボタンを5秒以 上長押しする。
 - ③ 起震台は自動的にスタート位置に戻り、新たにプログラムが選択できる。
 - (2) スマートフォンの緊急地震速報が鳴らない
 - 緊急地震速報用 PC の「K」ボタンを押し、画面に「WARNINNG!!」が表示されるか確認する。



② 「WARNINNG!!」が表示される場合はスマートフォンの再起動をする。

- ③ 「WARNINNG!!」が表示されない場合は緊急地震速報用 PC と緊急地震 速報用スマートフォンの両方を再起動する。
- (3) 体験中起震台が停止した、起震台が上がらない
 - センサーに感知した等、停止した原因が明確な場合は、「緊急停止と 復旧」の手順に沿って操作する。
 - ※センサーが感知した時は、タッチパネルのセンサーモニターが赤色 に点灯する。



※「緊急停止スイッチ」を押さずに、「緊急停止復旧」ボタンのみを 押すと機械原点に戻らず、その状態で再度起震装置を動かすと、 起震台が外枠に乗り上げる等の危険性がある。 ② 復旧しない場合や起震台階下ピット内の制御盤モニターに重大なエラーが表示されている場合は、消防局へ報告し、指示を仰ぐ。



モニター (各アクチュエーター)

- ※制御盤の主電源を OFF にして強制終了すると、エラーや機械原点が リセットされるため、トラブルの原因が特定できない。また、起震 台が外枠に乗り上げる危険性がある。
- (4) 停電時
 - 体験中の場合は停電した時点で停止し、その位置で起震台が降下する。枠に乗り上げる可能性がある。
 - ② 消防局へ報告し、指示を仰ぐ。
 - ③ 落雷等、停電が予想される場合は体験を休止するなどの措置を取る。
 ※体験休止が長期間に及ぶ場合は、消防局と協議を行うこと。連絡については 11 ページを参照。

4 その他

- (1) 車いすの固定
 - 手前ソファー下部のネジ及び固定金物をすべて外し、ソファーを取り 外す。
 - ② 取り外したネジを、ソファーを固定していた元の位置に取り付ける。





③ 車いす前方の固定については、取り付けたネジの間に車いすを設置 し、車いす前輪の構造部分とネジをマジックテープで固定する。



- <image>
- ④ 車いす後方の固定については、後ろの柵と車いす手すり部分をマジッ クテープで固定し、車いすがしっかりと固定されたことを確認する。

消火体験コーナー



1 システム概要



(1) システムラック



(2) タッチパネル


(3) 充填式消火器



(4) 体験用消火器



- 1号消火拴 1号消火拴
- (5) 屋内消火栓

(6) スクリーン



(7) プロジェクター





・プロジェクター用 リモコン

- (8) 消火器充填装置
 - ① 制御盤



② エアコンプレッサ



2 操作手順

- (1) システム起動
 - プロジェクターの電源を 0N にする。
 ※各機器の電源は受付後方のスイッチと連動している。
 - エアコンプレッサの電源を「運転」にする。
- (2) パスワード入力
 - 4桁のパスワードの入力し、「ENT」を押してメニュー画面を表示する。
 - ② 「CLR」を押すとそれまで入力した数字をすべてクリアする。
 「DEL」を押すと最後に入力した数字を1文字削除する。



- (3) メニュー
 - ① 「解説映像開始」を選択すると解説映像選択画面に移行する。
 - ② 「消火体験開始」を選択すると消火体験選択画面に移行する。
 - ③ 「戻る」を選択するとパスワード入力画面に戻る。



- (4) 解説映像選択
 - ① 「消火器」を選択すると消火器解説映像を放映する。
 - ② 「屋内消火栓」を選択すると屋内消火栓解説映像を放映する。
 - ③ 「戻る」を選択するとメニュー画面に戻る。
 - ④ 解説映像を放映中は画面が「解説映像放映中」になる。



⑤ 解説映像の放映が終了すると解説映像選択画面に戻る。

- (5) 消火体験選択
 - ① 「家庭」を選択すると家庭火災(消火器)の体験を開始する。
 - ② 「オフィス」を選択するとオフィス火災(消火栓)の体験を開始する。
 - ③「オフィス途中」を選択すると「オフィス」を時間短縮で体験する。
 - ④ 「戻る」を選択するとメニュー画面に戻る。
 - ⑤ 消火体験を開始すると下記画面を表示する。
 - ⑥ 「消火成功」を選択すると強制的に消火成功、「消火失敗」を選択すると強制的に消火失敗する。





- (6) 消火器充填装置
 - ① 制御盤前面にあるキースイッチを「入」にする。
 - ② 空になった充填式消火器を充填装置にセットする。
 - ③ 充填装置のノズルを充填する消火器の充填口にカチッと音がするまで 差し込む。



- ④ 充填する消火器の取付けたノズルの番号と同一の制御盤の充填選択ボ タンを押す。(ランプ点灯)向かって左からNo.1・2・3・4 となっている。
- ⑤ 制御盤の「スタート」のスイッチを押す。
 - ※充填式消火器の中身が残っている状態で充填すると、過充填となり 思いがけない事故が発生する可能性があるため、充填する場合は中 身をすべて放出し、空の状態にしてから行うこと。
 - ※充填式消火器に中身が残っている場合は圧力計の針が緑の範囲まで 届かない。



⑥ 充填が終了するとスイッチランプが消灯する。

⑦ 充填終了後、ノズルを充填口から外し、ノズル掛けに戻す。ノズルは強く押してホースに残っているエアーを抜く。



8 キースイッチを「切」にする。
 ※消火器がセットされていない状態で操作を開始してしまうとトラブルの原因となる。

- (7) 充填式消火器·体験用消火器
 - 安全ピンを抜く。
 - ② ホースを火元に向けてグリップを強く握る。放水は約15秒。



- (8) 1号消火栓 ※2名で操作する。
 - 消火栓の発信機を押し、起動させる。
 発信機を押すと表示灯が点灯から点滅に変わる。



- ② 扉を開けてホースをすべて出して伸ばす。
- ③ ホースが伸びたことを確認し、放水バルブを開ける。

④ 消火活動終了後、放水バルブを閉めて水を止める。



⑤ 発信機のボタンを復旧する。

- (9) 2号消火栓 ※1名で操作する。
 - 消火栓の発信機を押し、起動させる。
 発信機を押すと表示灯が点灯から点滅に変わる。
 - ② 扉を開け、放水バルブを開ける。



- ③ ホースを伸ばす。
- ④ 筒先バルブを開き、放水する。



- ⑤ 筒先バルブを閉め、放水を停止する。
- ⑥ 放水バルブを閉める。
- ⑦ 発信機のボタンを復旧する。
- (10) システム終了
 - ① エアコンプレッサの電源を「停止」にする。
 - ② エアコンプレッサの水抜きを行う。

[※]エアコンプレッサのエアタンク内に水が溜まると錆び等腐食が発生 し事故の原因となる。排出後は必ずバルブを閉める。



③ プロジェクターの電源を OFF にする。

3 トラブルシューティング

- (1) システムが立ち上がらない
 - ① 各機器に電源が供給されているか確認する。
 - パソコンが正常に立ち上がっているかを確認する。
 デスクトップの画面でフリーズしている場合は、パソコンを再起動させる。
- (2) 音声がでない
 - 映像が出力されているか確認する。
 - ・映像が出力されている場合は、パワーアンプのボリュームを確認する。
- (3) 消火できない
 - ① スクリーンに向かって放水し、映像が展開するかを確認する。
 - ② 展開しないで延焼していく場合は、センサーインターフェースの異常 が考えられるため、本体の電源を切り数秒後再投入する。

- (4) 体験用消火器の水漏れ
 - 安全ピンを抜かなくても消火器のホースから水が出る場合は、調整弁のネジが緩んでいるため締めなおす。



② 本体内部から水漏れしている場合は、キャップを外し、水道水誘導 ホースの接合部分を締めなおす。





1 システム概要

(1) システムラック





制御装置の電源を「ON」にするとマニュアルで起動させることができる。





(2) 炎演出装置



(3) センサー





- (4) 疑似エレベーター

2 操作手順

- (1) システム起動
 - 各機器の電源を 0N にする。
 ※受付後方のスイッチと連動している。





 ② 2 階スモークマシンの電源を 0N にする。
 ※このスイッチ「OFF」にすると 2 階を使わないときは、スモーク液の 消費を抑えることができる。



- ③ 停電を想定した体験のため、体験室内の電気を消す。
- (2) パスワード入力
 - 4桁のパスワードの入力し、「ENT」を押すとメニュー画面を表示する。
 - ② 「C」を入力するとそれまで入力した数字をすべてクリアする。

7 8 9 4 5 6 1 2 3 0 . ± C ENT	15	ペスワ-	-14			
7 8 9 4 5 6 1 2 3 0 . ± C ENT						
4 5 6 1 2 3 0 . ± C ENT	7	8	9			
1 2 3 0 . ± C ENT	4	5	6			
0 . ± C ENT	1	2	3			
C ENT	0		±			
	С	El	T			

- (3) 体験開始
 - 「体験開始」ボタンを押す。
 - ② 状況に応じて、「煙出力」ボタンを押して煙を追加する。
 - ③ 天井の人感センサーにより体験者の位置を確認することができる。
 - ④ 姿勢が高いと姿勢センサーに触れ、「煙を吸わないよう、低い姿勢で
 避難しましょう」という警告メッセージが流れる。
 - ⑤ 疑似エレベーター(2か所)のボタンを押すと「エレベーターは使わず、階段を使って避難しましょう」という警告メッセージが流れる。
 - ⑥ 体験終了後は「体験終了」ボタンを押す。



- (4) システム終了
 - ① 2階スモークマシンの電源を OFF にする。
 - 各機器の電源を 0FF にする。
 ※受付後方のスイッチと連動している。

3 トラブルシューティング

- (1) システムが立ち上がらない
 - ① 各機器に電源が供給されているか確認する。
 - パソコンが正常に立ち上がっているかを確認する。
 デスクトップの画面でフリーズしている場合は、パソコンを再起動させる。
- (2) 装置が作動しない
 - すべての装置が作動しない場合はパソコンとシステム制御装置間で何 らかの異常があり正常に通信できていない状態か、システム制御装置側 に異常があると考えられる。正常に立ち上がっているか、エラー表示が ないかを確認する。
 - ② 効果音が出力されているようであれば、制御装置が正常かどうかを確認する。制御装置前面パネルにある各スイッチを操作し、動作するかを確認する。
 - ③ 人感センサーが感知しない場合は天井部のセンサーの下に立ち、カチッと音がして赤いランプが点灯するかを確認する。音がして点灯しても 画面上に表示されない場合は、システム制御装置までのケーブルに異常 があると考えられる。また、姿勢センサーを遮って警告メッセージが出 力されるかを確認する。

- (3) 煙が出ない
 - スモーク液が空になっていないか、給油チューブが油面に届いているか、給油チューブが折れ曲がっていないかを確認する。
 - スモークマシン本体の受皿液ランプが点灯している場合は、廃液を処 理する。
 - ③ スモークマシン本体の切替スイッチが「リモート」になっているか、 リモコンの電源が ON になっているかを確認する。
 - ④ 予熱完了ランプが点灯しているかを確認する。予熱が完了するまで約2分間かかる。







- (4) 排煙が不十分
 - 排煙ダンパーの開閉に不具合が生じている可能性があるため、2階東
 階段上の点検口より調節ネジの調整をする。





1 システム概要

(1) 操作盤



(2) 制御盤



(3) 分電盤



(4) システムラック



(5) プロジェクター





プロジェクター用 リモコン

(6) スロープ



2 操作手順

- (1) システム起動
 - 分電盤のブレーカーをブレーカー番号「1」から昇順にゆっくり 「0N」にすると、操作卓のスイッチやランプが全て点灯する。

※プロジェクターの電源を後から入れると他の AV 機器がプロジェク ターを認識できなくなり、映像が出なくなる。



② 約1分間の機器初期化が行われ、初期化が終了すると室内照明及び、 操作盤のストップランプと演出パターンスイッチ(0~10m/s)が点灯す る。初期化が行われている時にランプ切れのチェックを行う。 ③ カメラ映像送出用 PC の電源スイッチを押す。表示される「Log On」
 入力画面で User Name「ADMIN」、Password「JVC」を入力し、「Sigh up」
 をクリックする。次の画面で「Full Screen」をクリックする。





 ④ 室内にごみや異常がないことを確認し、パターン3(0~30m/s)で試験 運転を行う。

※必ず無人の状態で行う。

※すべての装置が問題なく動作することを確認する。異常がある場合 は運用を中止する。

- (2) 演出同期
 - 「演出パターン選択」より体験する風速を選択し、スイッチを押す。

 1:風速 0~10m/s
 2:風速 0~20m/s
 3:風速 0~30m/s
 4・5:予備
 - ② 「スタート」スイッチを押す。
 - ③ 動作中の演出を停止する場合は「ストップ」スイッチを押す。


- (3) 手動
 - 「暴風(風速)パターン選択」より選択し、スイッチを押す。
 OFF:暴風停止
 1:風速 0~10m/s
 2:風速 0~20m/s
 3:風速 0~30m/s
 4・5:予備
 - 「演出部設定」よりストロボライトやカラーライトなどを手動で 「ON/OFF」することが可能。
- (4) システム終了
 - 演出が終了(暴風停止)し、体験ルーム室内が無人であることを確認する。
 - ② カメラ映像送出用 PC の電源ボタンを押し、シャットダウンする。
 - ③ 分電盤のブレーカーをシステム起動時の逆の順に「OFF」にする。
 ※「9 コンセント」と「12 非常灯」のスイッチは「ON」のままにする。

3 トラブルシューティング

- (1) 警告ランプ
 - 館内に非常・緊急放送が放送された時は、装置が自動的に停止し、 「非常緊急放送」ランプが点灯する。
 緊急放送が終了すると、「リセット」ボタンが点滅する。「リセット」
 ボタンを押下すると再び通常の運転が可能になる。



- ② 機器異常が発生した場合は「機器異常」ランプが点灯する。運転中に 点灯した場合、強制的に装置は停止する。装置の点検を行う。
- (2) 非常停止スイッチ
 - 装置が操作不能になった場合(ストップボタンの故障)などに強く押す。

※緊急時以外は使用しない。通常の停止は「ストップ」ボタンを押 す。

- ② すべての電源を OFF にして装置に異常がないことを確認する。
- ③ ボタン部分を時計回りに回転させて解除し、電源を ON にする。

- (3) ランプチェックが終わらない、または始まらない
 - ① AC200V のブレーカーが ON になっているかを確認する。
 - ② 非常停止スイッチを押した場合は、解除し再起動を行う。
 - ③ 非常・緊急放送が流れた場合は、再起動を行う。
- (4) 初期化に機器異常ランプが点灯する
 - ① すべてのブレーカーが ON になっているかを確認する。
 - ② 初期化中に非常停止スイッチを押した場合は、解除し再起動を行う。
 - ③ 初期化中に非常・緊急放送が流れた場合は、再起動を行う。
- (5) 運転中に機器異常ランプが点灯する
 - 「リセット」ボタンを押して復旧するかを確認する。
 ※「リセット」ボタンで復旧する場合は体験ルーム背面の吸気フィルターの目詰まりがないか、制御盤の吸排気口がふさがっていないかを確認する。
 - ② 「リセット」ボタンを押しても復旧しない場合や、同様の現象が頻発 する場合は装置が故障している可能性があるため、消防局へ報告し、 指示を仰ぐ。
- (6) 音声・映像が出ない
 - ① 分電盤「3 ラックコンセント」の再起動をする。
 - ② メディアプレーヤーの立ち上がり後、再度運転する。



メインモニター

1 システム概要

(1) AV 機器室



(2) モニター







(4) レサシアン



2 操作手順

- (1) システム起動
 - ① AV 機器室の主装置スイッチを「ON」にすると、メイン画面の電源が入り、映像が流れる。
 - ② 体験用モニターの2か所はリモコンで操作し、電源を入れる。



- (2) 映像選択
 - ① ボタンを押すと、映像が流れる。
 - ② 「停止」ボタンを押すと、映像が停止する。



(3) AED の設定

- 電極パッドが接続されていないことを確認し、バッテリを取り外して から再度バッテリを入れる。(または、2つの「オプション」ボタンを同時に押下した状態で、「電源」ボタンを押す)
- ② オペレータディスプレイにシナリオ番号が表示される。
- ③シナリオ番号を選択し、「電源」ボタンを押す。



⁽引用元:訓練用 AED「Laerdal AED Trainer 2」 取扱説明書 P6~7)

- (4) システム終了
 - メインモニター及び体験用モニターをリモコンで操作し、電源を切る。
 - ② 完全に電源が落ちたことを確認し、AV機器室のスイッチを「OFF」に する。
 - ※メインモニターの電源が落ちていない状態でAV機器室のスイッチを「OFF」にすると、エラーが生じる場合がある。

■ はしご車に乗ってみよう

1 システム概要

(1) 運転席



(2) 操作席



(3) 制御装置



2 操作手順

- (1) システム起動
 - ① 受付後方の電源スイッチ「梯子車情報機器」を「ON」にする。
 - ② システムが起動すると、無線機の交信音が鳴り始める。
- (2) システム終了
 - ① 受付後方の電源スイッチ「はしご車機器」を「OFF」にする。